

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	母性看護学実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3学年	学期及び曜時限		教室名	各実習施設
担 当 教 員	山本 亮子	実務経験とその関連資格	実務経験:看護師(混合病棟)3年、助産師14年、個人で性に関する講演活動約5年 関連資格:助産修士、養護教諭(2種)、中学校教諭(2種)保健、受胎調節実地指導員、上級思春期保健相談士、NCPR専門コース・ALSOプロバイダーコース修了 他		
《授業科目における学習内容》					
妊婦・産婦・褥婦と新生児の健康保持・増進の看護を学ぶ。妊婦・産婦・褥婦とその家族が新しい役割を獲得するために必要な看護の実際を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
《授業外における学習方法》					
事前学習、課題学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。					
実習プログラム					
実習期間 時間数	2021年 5月6日～10月29日 合計90時間				
実習の目的	妊婦・産婦・褥婦の経過に応じた看護援助が説明できる。 新生児の胎外生活適応のための看護援助が説明できる。 保健医療福祉チームの一員としての役割を認識し、連携の必要性を説明できる。 生命の尊厳、母性の尊重、女性の主体的な生き方について深め、述べるができる。				
実習の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1)妊娠経過を学び妊娠管理の重要性について学ぶ。 2)妊婦の諸計測および健康診査について知る。 3)妊婦への保健指導について学ぶ。 4)分娩各期における産婦の生理的変化を学ぶ。 5)分娩経過に応じた日常生活援助を知る。 6)褥婦の退行性変化を踏まえ、復古現象の促進を学ぶ。 7)褥婦の進行性変化を踏まえ、乳汁分泌の促進を学ぶ。 8)褥婦の心理状態を知る。 9)育児をするための援助方法を知る。 10)母子相互作用の成立に向けての援助を学ぶ。 11)褥婦の日常生活援助を知る。 12)新生児の生理的変化を知る。 13)新生児が胎外環境に適応するための呼吸・循環・体温の援助を学ぶ。 14)新生児の診察・検査の介助の必要性を知る。 15)新生児の安全確保と感染防止の看護援助を学ぶ。 16)妊娠・出産に関連する届け出等の手続きについて学ぶ。 17)社会資源の活用について知る。 18)保健医療福祉チームの一員として自覚した言動をする。 19)生命、母性、主体的な生き方について自己の考えを述べる。 				